



SUSTAINABILITY REPORT 2023

サステナビリティレポート

世界の飲料ビジネスを 変える！



当レポートの位置付け・役割

当レポートは、シンクラングループのSDGsに関する取り組みをまとめたものです。当社グループは、企業の社会的責任を果たすためのさまざまな取り組みを展開しており、当社グループを支えてくださるステークホルダー（利害関係者）の皆様（顧客、お取引先様、および地域社会）に私たちのサステナビリティの取り組みをお伝えするため、2019年からコミュニケーションツールとして「CSRレポート」・「SDGs&ビジネスレポート」を発行してきました。

本年度からは持続可能な社会の実現に向けて、SDGsに積極的に取り組む姿勢をお伝えするため、「サステナビリティレポート」に名称を変更して発行すること

といたしました。2015年に国連で採択され、世界中で取り組まれているSDGsに関して、シンクラングループの重点項目と関係性の高いSDGsの目標を定めて、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでいきます。

CONTENTS

- 01 当レポートの位置付け・編集方針 等
- 03 トップメッセージ
- 05 会社概要・役員・沿革

SDGsへの取り組み

- 06 サステナビリティの取り組み全体像・10の経営テーマ
- 07 省資源
- 07 気候変動への取り組み
- 09 運輸安全
- 11 労働安全衛生
- 12 健康経営
- 13 女性活躍
- 15 社員の働きがい
- 16 人権尊重 ダイバーシティ&インクルージョン
- 17 リスクマネジメント
- 18 コンプライアンス

事業内容

- 19 海外事業
- 20 国内事業・数字で見るシンクラン・事業所一覧
- 21 販売物流・大型輸送
- 22 倉庫管理・営業事務・ベンディング・販売支援

編集方針

当レポートでは、シンクラングループが社会の一員として果たすべきSDGsに対する考え方や活動を報告しています。

報告対象範囲

シンクラングループのうち、主に株式会社シンクランホールディングス、株式会社シンクラン、株式会社 TEAMS、株式会社 ONE MISSION、株式会社ティーアールネットの活動を報告しています。

報告対象期間

2022年度(2022年1月～2022年12月)

発行時期

2023年3月

参考にしたガイドライン

「GRI サステナビリティ・レポートニング・スタンダード」

レポートに関するお問い合わせ先

〒920-0057

石川県金沢市桜田町1丁目1番地 株式会社シンクラン

TEL.076-232-5111 / FAX.076-262-1555

SDGsについて

SDGsは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals) のことで、社会、経済、環境といった世界的な社会課題の解決に向けた2030年時点における世界共通の目標です。2030年までに達成を目指す17の目標と169のターゲット(達成基準)から構成され、これらの目標達成のために、世界各国の政府のみならず、自治体、企業など、あらゆる組織・個人が協力して取り組むことが求められています。

TOP MESSAGE

世界の飲料ビジネスを変える！

オペレーションエクセレンスを超えて、グレートに成長する

1. 社会的価値を高める
2. デジタルを活用しオペレーションソリューションを高める
3. 人的資本への投資

Safety & Well-being

セーフティ&ウェルビーイング

安全と健康による
幸福の追求

Agility & Resilience

アジリティ&レジリエンス

迅速な変化への適応

Diversity & Inclusion

ダイバーシティ&インクルージョン

多様性を認め
一体感を持つ

Communication & Collaboration

コミュニケーション&コラボレーション

対話・共有・動機づけ

存在意義

自信と誇りを持って
グレートオペレーションをめざし
すべてのステークホルダーと共に
サステイナブルな社会の実現を追求する

行動指針

TEAM OF TEAMS

常に意識共有し、迅速に行動する

オペレーション信条

サステイナブルを
すべてのオペレーションのスタンダードに

オペレーション活動の安全・安心・快適のさらなる進化と
持続可能な社会への貢献を両立していくために
リテールサポートビジネスを基本とした多彩なオペレーション活動と
先進のデジタル技術を掛け合わせた BPO ソリューションを提案する



サステイナブルな社会の実現を追求する。

シンクラングループは2021年に創業50周年を迎え、昨年は“100年企業”を目指す上で次なる50年に向けた第一歩となりました。当社の事業活動を支えてくださる国内外の顧客、お取引先様、地域の皆様をはじめ、当社を取り巻く全てのステークホルダーの方々に心より深く感謝申し上げます。

昨年、シンクラングループは「世界の飲料ビジネスを変える!」を新たなパーパスに掲げました。高品質なオペレーションに自信と誇りをもって、サステイナブルな社会の実現を追求するとともに、ステークホルダーの皆様と意識を共有し、迅速に行動すること（TEAM OF TEAMS）により、世界の飲料ビジネスを変えることを目指しています。

パーパスに掲げる“サステイナブルな社会の実現”は企業として最重要課題と認識しており、社会環境や人々の価値観・ニーズの変化を受け、当社の成長戦略・オペレーションモデル・組織構造もブラッシュアップし続けています。社会と共に存在することを常に意識した持続可能な事業の追求、経済的価値と社会的価値の両立こそが、シンクラングループの使命です。

国連が提唱する世界共通目標「SDGs」を踏まえ、昨年、シンクラングループでは「環境」・「社会」・「リスクマネジメント/コンプライアンス経営」の3つの観点から、“10の経営テーマ”をサステナビリティの取り組みの最重要項目とし

て新たに掲げました。経営テーマ毎にSDGs目標を設定し、目標達成に向けた取り組みを日々実行しています。「環境」においては、“省資源”と“気候変動への取り組み”をテーマとしており、特に車両からのCO₂排出量の削減は大きな課題と捉えて取り組んでいます。「社会」の観点においては、“運輸安全”や“健康経営”等、安全安心な事業活動を実現する基盤構築をはじめ、誰もが働きやすい環境をつくるべく“女性活躍推進”や“人権尊重”等、幅広い経営テーマに取り組んでいます。

これからも事業活動を通じて社会課題に取り組み、社会的責任を果たすことにより、ステークホルダーの皆様からの信頼を高め、シンクラングループの経済的価値、社会的価値の向上を目指してまいります。本レポートで私たちの社会的責任についての考え方と取り組みをご理解いただけましたら幸いです。

鶴賀 大輔
DAISUKE TSURUGA

株式会社シンクランホールディングス
代表取締役社長 兼 COO

会社概要 Company Profile

名称	株式会社シンクランホールディングス	株式会社シンクラン
設立	2016年3月18日	1971年10月28日
決算期	12月	12月
資本金	1,000万円	1億円
代表者	代表取締役会長兼CEO 鶴賀 裕行 代表取締役社長兼COO 鶴賀 大輔	代表取締役社長 鶴賀 大輔
本社所在地	石川県金沢市桜田町1丁目1番地	石川県金沢市桜田町1丁目1番地
主な事業	グループにかかわる事業方針・戦略の立案および 推進ならびにグループの業績管理	貨物自動車運送事業

役員 Board member

※2023年3月20日時点

株式会社シンクランホールディングス

代表取締役会長兼CEO 鶴賀 裕行
代表取締役社長兼COO 鶴賀 大輔
取締役 吉野 直樹

取締役(非常勤) 滝澤 てつや
取締役(非常勤) 石橋 達成
監査役(非常勤) 鶴賀 紗世

株式会社シンクラン

代表取締役社長 鶴賀 大輔
取締役 石田 貴英
監査役(非常勤) 鶴賀 美佐子
監査役(非常勤) 五十嵐 光由

株式会社TEAMS

代表取締役社長 檜館 直行
取締役 鶴賀 大輔
取締役 吉野 直樹
監査役(非常勤) 井上 充洋

株式会社ONE MISSION

代表取締役社長 森山 明能
取締役 鶴賀 大輔
取締役 石田 貴英
監査役(非常勤) 井上 充洋

株式会社ティールネット

代表取締役社長 鶴賀 大輔
取締役 鶴賀 裕行
取締役 田中 由利
取締役(非常勤) 北 恵子
監査役(非常勤) 井上 充洋

沿革 History

- 1971年(昭和46年) ● 北陸サービス株式会社設立
- 1974年(昭和49年) ● 北陸コカ・コーラ ボトリング株式会社と取引開始
- 1984年(昭和59年) ● 北陸サービス株式会社より分社、アトム運輸株式会社設立
- 1985年(昭和60年) ● 国内各コカ・コーラ ボトラー社と取引開始
- 2008年(平成20年) ● F&N Coca-Cola (シンガポール) と取引開始 以降、海外事業拡大
- 2015年(平成27年) ● アトム運輸株式会社から株式会社シンクランへ社名変更
- 2016年(平成28年) ● LOGISTICS ASIA 社と共同出資で『BEVPRO ASIA Co., Ltd.』を設立
- 2017年(平成29年) ● CQ ベンチャーズ株式会社と共同出資で『株式会社 TEAMS』設立 (2019年に100%子会社化)
- 2019年(平成31年) ● 人材派遣事業会社『株式会社 ONE MISSION』設立
- 2021年(令和3年) ● 『株式会社シンクランホールディングス』を稼働し、持株会社体制に移行
創業50周年を迎える
- 2022年(令和4年) ● 人材派遣事業会社『株式会社 ONE MISSION』を株式会社シンクランに吸収合併し、
新たに安全運転推進支援事業会社『株式会社 ONE MISSION』を新設



SDGsへの取り組み

シンクラングループの事業活動とSDGs

シンクラングループは、持株会社である株式会社シンクランホールディングスを中心に、各グループ会社が相互に関係性を持ち、協働してシナジー効果を発揮することで企業価値の向上を目指しています。

thinkrun HD グループ一覧

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <p>株式会社シンクラン</p> <p>貨物自動車運送事業</p> | <p>株式会社TEAMS</p> <p>海外における自動販売機事業
拡大支援等のグローバル事業</p> | <p>株式会社ONE MISSION</p> <p>安全運転推進支援事業</p> | <p>株式会社ティーアールネット</p> <p>グループ内
シェアードサービス事業</p> |
| <p>さわやかリテールサポート株式会社</p> <p>北陸エリアを中心とした清涼飲料水販売オペレーション事業</p> | <p>株式会社ケーエルシー</p> <p>ロジスティクス
コンサルティング事業</p> | <p>BEVPRO ASIA Co., Ltd.</p> <p>タイでの清涼飲料水の
販売機器メンテナンス事業</p> | |

サステナビリティの取り組み全体像 ～10の経営テーマ～

<p style="text-align: center;">環境 ENVIRONMENT</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>12 つくる責任 つかう責任</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>  </div> </div> <hr style="border: 0; border-top: 1px dashed white;"/> <p style="font-size: small;">▶ 省資源 ▶ 気候変動への取り組み</p>	<p style="text-align: center;">社会 SOCIETY</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>3 すべての人に 健康と福祉を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>5 ジェンダー平等を 実現しよう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも 経済成長も</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>10 人や国の不平等を なくそう</p>  </div> </div> <hr style="border: 0; border-top: 1px dashed white;"/> <p style="font-size: small;">▶ 運輸安全 ▶ 女性活躍 ▶ 労働安全衛生 ▶ 社員の働きがい ▶ 健康経営 ▶ 人権尊重・ ダイバーシティ&インクルージョン</p>	<p style="text-align: center;">リスクマネジメント/ コンプライアンス経営 RISK & COMPLIANCE MANAGEMENT</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>16 平和と公正を すべての人に</p>  </div> </div> <hr style="border: 0; border-top: 1px dashed white;"/> <p style="font-size: small;">▶ リスクマネジメント ▶ コンプライアンス</p>
--	--	---

シンクラングループがSDGsに取り組む理由

昨今では、持続可能な社会への取り組みが企業価値を図る指標の一つになっています。2015年に国連サミットで採択されたSDGsは、社会、経済、環境といった世界的な社会課題の解決に向けた世界共通の目標です。この目標達成のためには、世界各国の政府、自治体、

個人だけではなく、企業も事業活動を通じて協力して取り組むことが求められています。当社グループでは、SDGsの目標を意識しながら事業活動を推進していくことが、ステークホルダーの皆様のお役に立ち、ひいては社会課題の解決につながると考えています。

重点項目とSDGs

当社グループは、事業を通じて社会的課題の解決を図り、持続的な成長を目指しています。活動にあたっては、事業内容や現状の課題等に基づき、社会的責任を定義付けした上で、「10の経営テーマ」を設定して取り組みを行っています。そして、各活動と親和性の高いSDGsを特定し取り組みを進めています。

01

THEME

Resource saving

省資源



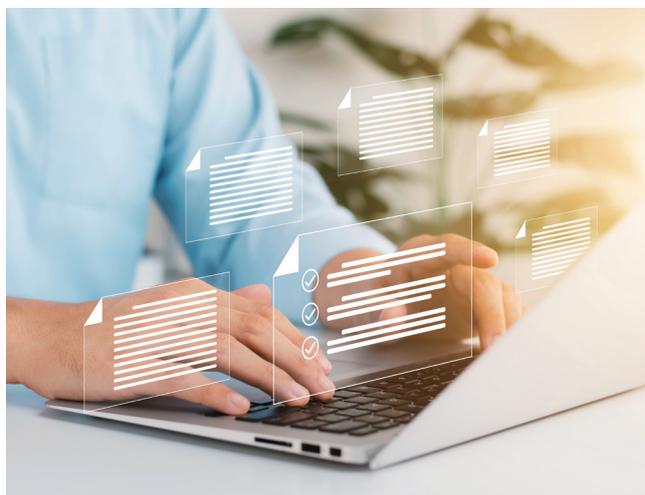
私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える」というパーパスのもと、地球環境保全、地域環境推進活動に積極的に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
紙使用量	3%削減 (対 2022 年)	2023 年

ペーパーレスの推進

総務・人事関係の業務を中心にペーパーレス化を進めています。総務関係では、インターネット FAX の導入・拡大を推進しており、紙・インク・電気の使用を削減するだけでなく、インターネット回線を使用することから、いつでもどこでも受発信できるため業務の効率化にも寄与します。また、電子決裁システムの刷新に伴い、社内の各種申請手続きの電子化を拡大していきます。

人事関係では、人事管理システムの導入により、従業員の給与明細や年末調整等の提出書類はすべて電子化しています。上記の他にも、社内の研修・主要会議等ではハンドアウトの資料を使用しないことを徹底するなどしてペーパーレスの推進に取り組んでいます。



02

THEME

Climate action

気候変動への取り組み



私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える」というパーパスのもと、地球環境保全、地域環境推進活動に積極的に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
CO ₂ 排出量	30%削減 (対 2015 年)	2030 年



トップランナー基準車の導入による燃費の向上

省エネ法に基づく燃費基準（トップランナー基準）を満たした車両を積極的に導入しており、2022年末現在で1,229台のトップランナー基準車を保有しています。燃費向上による使用燃料の削減を図ることで、温室効果ガス（CO₂）の排出量を削減してまいります。

車両台数(1.1トン以上)：1,371台
 トップランナー基準車：1,229台(89.6%)
 (2022年12月末現在)

エコドライブの推進による燃費の向上

車両にドライブレコーダー機能付デジタルタコグラフ（以下、高機能デジタルコ）を搭載し、ドライバーの運転データを分析することにより、安全運転の指導を徹底するとともに、エコドライブの指導に活用しています。今後も車両へのデジタルコ搭載を積極的に行い、エコドライブを推進することにより、燃費を向上させ使用燃料の削減を図り、温室効果ガス（CO₂）の排出量削減につなげてまいります。



EVトラックの導入によるCO₂排出量の削減

CO₂や汚染物質を排出しないEVトラックの導入により、ゼロエミッション輸送の実現、騒音問題の解決などグリーン物流を具現化することで、地球環境保全に貢献することを目指しています。加えて、EVトラックは低振動であるためドライバーの負担軽減も期待できます。



混載配送事業の拡大による配送の効率化

複数のメーカーの製品を同一車両で小売店へ配送する混載配送事業の拡大に取り組んでおり、2022年末時点で17道県にまで拡大しています。今後も複数メーカー製品の混載配送による配送効率の向上を推進することで、温室効果ガス（CO₂）の排出量の削減を目指してまいります。



二室式二温度管理車両による配送効率化

常温商品とチルド商品など、異なる温度帯で管理・配送が必要な商品を、間仕切りによって1台の配送車で運ぶことのできる「二室式二温度管理車両」を保有・展開し、配送効率化を図っています。二室式二温度管理車両の活用により、温室効果ガス（CO₂）の排出量の削減を目指してまいります。

03

THEME

Transport safety

運輸安全



私たちは、「安全はすべてに優先する」をスローガンに、交通事故防止活動を推進します。トラックによる輸送を行う事業活動が、地球環境・地域社会に与える影響を正しく認識した上で、安全マネジメントを構築し、かつ継続的に改善することにより、交通事故防止を図ります。

これらを推進するため、交通事故防止の目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、全従業員で交通事故防止に取り組みます。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
重大交通事故件数	ゼロ	2023年
交通事故件数	50%以上削減(対2022年)	2023年

安全運転の推進



株式会社ONE MISSIONの立ち上げ

シンクラングループの安全運転の推進・強化を目的として、シンクランホールディングスと七尾自動車学校との共同出資により、2022年4月1日に株式会社 ONE MISSION を立ち上げました。「シンクラングループで事故によって不幸になる人をゼロにする!!」という考えのもと、さまざまな安全運転の推進に取り組むとともに、交通安全に対して自律的に考えて行動する従業員の育成に努めています。

無事故・無違反表彰の実施

1,500人を超えるドライバーの安全運転へのモチベーションを高め、交通事故の撲滅につなげるべく、無事故・無違反ドライバーを表彰する制度を設けています。表彰は年1回行い、2022年は無事故・無違反者825名と、無事故拠点の運行管理者86名を表彰・賞賛し、労をねぎらいました。

表彰対象

- 10年間 無事故・無違反ドライバー
- 5年間 無事故・無違反ドライバー
- 1年間 無事故ドライバー
- 1年間 無事故拠点 運行管理者



デジタコデータの分析・配信

交通安全、環境、車両の効率・資産管理等のさらなるレベルアップを図るべく、ドライブレコーダー機能付デジタルタコグラフ(以下、高機能デジタコ)を2021年に刷新し、ベンディング関係車両を除

く全ての車両への切り替え設置をしました。2023年には、ベンディング関係の全車両への高機能デジタコの搭載を予定しており、安全運転の推進に向けたデジタコデータの分析を強化していきます。

安全運転技術・オペレーション品質の向上

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社主催 輸送部門コンテストでの評価

顧客であるコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社が、物流協会社と共通の目標を持ち、日々の運行と改善を図ることを目的として、“2022年度 CCBJI 輸送協会社カ・イ・ゼ・ン コンテスト”を開催し、シンクランは主要協力会社の中で、第1位の評価を獲得しました。



贈呈された“フィギュアトレーラー”



大分警察本部 優秀安全運転事業所表彰

当社の大分営業所の4拠点が、大分県警察本部による優秀安全運転事業所表彰において「銀賞」を受賞しました。当営業所の所長・拠点長および所属メンバー全員が、「絶対に事故を起こさない」という高い安全意識を持ち、プロドライバーとして日々の活動に取り組んでいることが銀賞の受賞につながりました。



花王ロジスティクス株式会社主催 安全部門・品質部門での評価

顧客である花王ロジスティクス株式会社が主催する“2022年優秀賞表彰(安全部門/品質部門)”において、シンクランは安全部門および品質部門で「優秀賞」を獲得しました。安全部門では事故・災害ゼロ等、また品質部門では納品異常件数ゼロ等の選出基準が設けられており、当社の年間の活動の成果と貢献度が認められ、優秀賞の受賞に至りました。

安全運転教育の実施

初任運転者教育の実施

新入社員研修にてトラックの特性等、法令に基づき実施しています。2022年は11回の研修を実施し、141名が受講しました。

免許制度教育の実施

全従業員対象に免許証の区分の理解等、法令に基づき実施しています。2022年は6回の研修を実施し、332名が受講しました。

選任運転者登録前研修

新入社員が独り立ちする前に、現場管理者による20時間以上の同乗指導教育を実施しています。

運行管理講習会の開催

運行管理をするにあたっての必要最低限の基礎知識を理解し、拠点における適正化巡回指導に対応できる体制を整えることを目的として、運行管理講習会を開催しています。2022年は3回開催し、43名が参加しました。講習会では、運行管理者の日常業務、各帳票類の管理、行政官庁への申請・届け出方法など、運行管理に関する専門的な内容が取り上げられました。



04

THEME

Occupational health and safety

労働安全衛生



私たちは、「従業員の安全は経営の基盤である」という認識のもと、職場における従業員の安全を確保し、健全で活気ある職場環境づくりを推進します。安全においては、「不安全行動の排除」・「不安全状態の除去」という2つの視点から取り組みます。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
休業度数率	2%以下	2023年
カート台車事故、フォークリフト事故 車両天井部からの落下事故	ゼロ	2023年
熱中症発症者	ゼロ	2023年

労働災害発生抑止

社内では「ご安全に!!」の声掛けを徹底

従業員の安全に対する意識を向上すべく、社内でのあいさつ時の声掛けを「ご安全に!!」とし、安全第一の組織風土の構築・浸透を図っています。また朝礼等で安全唱和を繰り返し実施することにより、安全意識の浸透・動機づけを継続しています。

ご安全に!!

「ご安全に!!」の声掛けの想いは
“相手の無事を願うこと”を意味しています。
オペレーション中は、相手の無事を願い
お互いに「ご安全に!!」の声掛けを行いましょう。

thinkrun

安全は企業活動の原点

安全 + 第一

私たちは、
すべてのオペレーションにおいて、
安全第一を最優先します。

thinkrun



安全衛生会議の開催

安全衛生管理活動を円滑に推進・強化することを目的として、支店の責任者も参加する安全衛生会議を毎月開催しています。会議では、従業員の安全と健康を維持・向上するための現状の問題点と対策を議論・検討し、実行できる運営体制としています。



職場の安全自主点検の実施

安全な職場環境づくりと安全意識を高めることを目的に、夏の繁忙期前の7月と繁忙期終了後の9月に職場の安全自主点検を行っています。

点検対象 車両、保護具、サイト内交通路、フォークリフト等

05

THEME

Health management

健康経営



私たちは、「従業員の健康は経営の基盤である」という認識のもと、職場における従業員の健康を確保し、健全で活気ある職場環境づくりを推進します。健康管理は身体だけではなく、心も含めた健康の保持・増進に努めます。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
健康診断受診率	100%	2023 年
二次検診 / 健康指導受診率	100%	2024 年
ストレスチェック受診率	100%	2023 年
過重労働者発生率	0%	2023 年
喫煙率	30% 以下	2023 年



健康診断の実施、二次検診受診の指導

全従業員を対象に健康診断を年1回実施しており、二次検診が必要な従業員には受診の指導を行っています。また、健診の結果を正しく把握し、今後の健康管理に活用するため、専門家からの指導を受けております。今後は、新たに健康管理システムを導入・活用することにより、さらなる従業員の健康維持に努めてまいります。

従業員へのヘルスケア情報の発信

従業員の健康への意識醸成と、健康の維持・向上をサポートする目的で、ヘルスケアに関する情報を定期的に社内ポータルサイトや社内報で発信しています。食や睡眠等の生活をテーマとしたアドバイスや、業務遂行上の留意点を紹介することにより、従業員の健康増進に努めています。



社内報に掲載された“ヘルスケア情報”



従業員への健康対策品・熱中症対策品の配布

夏場における従業員・家族の健康対策の一環として、2022年6月に全従業員・家族を対象に健康をテーマとした商品(冷感タオル、消毒液等)を配布しました。また夏場のオペレーションは熱中症のリスクが伴いますが、マスク着用でそのリスクが更に高まります。そこで夏場を迎える前に、全従業員に熱中症対策品として塩分補給品を配付しています。

06

THEME

Women empowerment

女性活躍



私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える」というパーパスのもと、女性が働きやすくかつ長期的にキャリアを形成していける環境づくりと、女性従業員の能力が最大限に発揮できる機会を提供できるようにします。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
女性管理職比率	10%	2030年
従業員における女性比率	30%	2025年



社内トレーニングの女性ファシリテーター養成

2022年に管理職を対象に実施した社内グローバル研修において、女性従業員2名がファシリテーターを務めました。研修専任部門ではない部門の従業員をファシリテーターとして養成するのは、シンクラングループとして初の試みであり、女性活躍を推進する上でも大きく前進する取り組みとなりました。約2年間をかけてのファシリテーターとしての養成を通じて、幅広い見識の習得につながっています。

次世代の女性リーダーの育成

女性従業員2名を選抜し、経営や組織等に関する知識習得・実践スキル向上を目的として、ビジネススクールへ派遣しています。知識の習得や自己研究等を通じて、将来のシンクラングループの成長をけん引する次世代リーダーを育成しています。



店舗の方に感謝された時は、 やりがいや達成感を感じます。

スーパーマーケットやドラッグストアなどの小売店で、商品の品出しや売場をつくる仕事をしています。このMD※という仕事を通して、1人でも多くの方に商品を手にとって頂けるよう自分のアイデアで売場を表現し、店舗の方に感謝された時は、やりがいや達成感を感じます。一緒に働いているメンバーは8割以上が女性で、皆さん優しく仕事熱心で、日々とても良い刺激を受けています。

※ MD=マーチャндаイジング(販売支援)



大塚 佑季さん(東北支店 板木MD)



牛渡 万稀さん(営業企画部 業績管理部)

自身のスキルを高めながら 様々な課題解決に貢献していきたいです。

業績管理部の仕事は、様々なデータの集計と分析を行うことにより、営業の業績を管理し、パフォーマンスの最大化、業績目標の達成に貢献することです。職場は、誰かのために一生懸命になれる雰囲気が高く、性別・年齢・役職に関係なく、お互いにアドバイスや冗談を言いながら励まし合って業務を進めています。これからも自身のスキルを高めながら、色々な人と関わりシナジーを出すことで、様々な課題解決に貢献していきたいです。

男性が多い職場ですが、 役職やエリアを越えて相談に乗ってくれます。

2トン車で配送を担当しており、荷量や件数は多いですが、とてもやりがいがあります。最近では、これまでの経験が認められて小口の枠を越えた配送を任されています。男性が多い職場ですが、役職やエリアを越えて相談に乗ってくださる先輩も多く、時には私が先輩に教える機会もあり、雰囲気はとてもよく、自信を持って仕事が出ています。大型トラックを運転する女性ドライバーに憧れがあり、今後は中型車や大型車での輸送もしたいです。



神田 結衣さん(東京支店 板橋RS)



小形 昌代さん(東京支店 板橋内勤)

問題が起きた時も チームプレーで解決してきました。

入出荷に関わる伝票作成・発行・データ照合、営業や配送担当とのやりとり等、物流関連業務を担っており、ときにはフォークリフト作業も行います。職場には男性が多いですが、気兼ねなく声を掛けられる環境で、問題が起きた時もチームプレーで解決してきました!後輩の女性メンバーに対しては、環境の変化によりキャリアを諦めることのないようしっかり意見を聞きながら、女性が働きやすい環境を一緒に作っていきたいと思います。

07

THEME

Employee job satisfaction

社員の働きがい



私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える」というパーパスのもと、人財育成・活用の促進と安全・安心な職場環境づくりを行うことで、従業員が生き生きと働き、誇りを感じる会社を目指します。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
時間外労働時間	対前年マイナス	2023年
有給休暇取得率	対前年プラス	2024年
研修受講率 (全従業員)	100%	2023年

ワークライフバランスの推進

タイムマネジメント推進部門が、週次で時間管理データを事業所の管理者に配信し、従業員に応じて細やかな指導を行い、労働時間の平準化と時間創出へつなげています。また、働き方改革の一環として、在宅勤務（リモートワーク）および時差勤務を推奨し、実施しています。

人財の開発（グローバル研修／階層別研修）

シンクランホールディングスがマクリスタルグループと共同で、2年をかけて開発したリーダーシップモデル「TEAM OF TEAMS グローバル研修」を、全管理職 180 名を対象に実施しました。また、階層別にテーマを設定した研修も実施しており、2022 年は延べ 678 名が受講しました。



顧客主催のコンテストへの参加

顧客であるコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社およびコカ・コーラ ボトラーズジャパンベンディング株式会社が主催するコンテストに参加し、当社のオペレーション品質・スキルや改善提案が高い評価を受け、従業員の働きがい向上につながっています。

2022年コンテスト結果

- ▶ 物流協会社改善活動コンテスト：第1位(数十社中)
- ▶ 東日本物流部オペレーション選手権：
【優勝】小出裕之さん(郡山営業所) / 【準優勝】 穴戸重良さん(仙南営業所)
- ▶ 自動販売機オペレーションNo.1選手権：
【全国5位(約5,000人中)】 山口彰紀さん(長島VM営業所)

08

THEME

Human Rights / Diversity & Inclusion

人権尊重 ダイバーシティ&インクルージョン



私たちは、「世界の飲料ビジネスを変える」というパーパスのもと、すべてのステークホルダーの人権を尊重し、従業員が生き生きと働き、誇りを感じる会社を目指します。

指標 (何を)	目標値 (どのくらい)	期限 (いつまでに)
障がい者雇用率	法定雇用率以上	2023年
人権研修受講率	100% (管理者)	2023年

人権意識の啓発

ハラスメント研修の実施

パワーハラスメント・セクシャルハラスメントの定義や、ハラスメントがもたらす悪影響、ハラスメントを防ぐための行動等を学ぶことを目的として、シンクラングループ管理職 88 名を対象として、講師の弁護士によるハラスメント研修を実施しました。

ダイバーシティの推進

障がい者雇用

障がい者の雇用を重要な社会的責務と認識し、障がい者の就労の場を提供しています。2022 年末現在で、障がい者雇用率は 3.1% となっています。

TOPICS



支援機構理事長奨励賞を受賞

障がいのある方の職業や仕事、障がい者雇用に関する取り組みの理解促進を目的とし、毎年、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構が「障がい者雇用支援月間ポスター原画コンテスト」を開催しています。2022 年は、前年に引き続き、シンクラングループ従業員の山口祐典さんが、全国多数の応募の中から「独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長奨励賞」を受賞しました。

09

THEME

Risk management

リスクマネジメント



私たちは、一人ひとりが様々なリスクに対して意識をもち、日頃からリスク予防・対応活動を着実に実行することにより、リスクの顕在化を防ぎ、発生してもスピードをモットーに損害を最小化し、顧客や地域社会から信頼される会社を目指します。

ERM (全社的リスク管理体制) の推進

ERMの実施

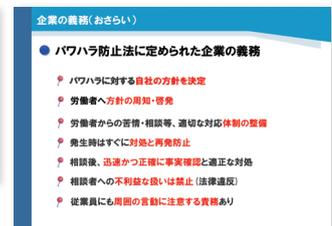
シンクラングループでは、経営の健全性確保と企業価値の向上を目的に、企業を取り巻く各種リスクを全社的視点で管理するERMの推進に取り組んでいます。ERM実施体制としては、社長をリスク管理の最高責任者(CRO)とし、リスク管理委員会にて

全社のリスク管理計画を策定し、運用状況を確認しています。車両運行管理・安全運転やオペレーション品質等について、全社の各部門が主体的にリスク対策を実行しています。

危機発生時の迅速な対応

リスク管理研修の実施

拠点の責任者である営業所長等の管理者を対象に、リスク管理研修を行っています。安全運転指導の際のポイントや、コンプライアンスの知識・行動・指導法、さらに時間管理の取り組み等、リスク管理に関わる重要な内容について指導しています。



情報セキュリティの取り組み

情報セキュリティ基本方針

適切な情報管理を行うため、すべての情報資産に対する機密性、完全性、可用性の維持・向上に努め、お取引先様を含む社会全体からの信用・信頼に応えられるよう、「情報セキュリティ基本方針」および「情報セキュリティ管理規程」を整備しています。

従業員の情報リテラシー向上

社内WEBサイトを活用して、情報システムに関する案内を発信し、従業員の情報リテラシーの向上を図っています。最近のサイバー攻撃に関する手口や対応の注意点、アプリケーションソフトのアップデート情報の案内など、タイムリーに発信しています。



コンプライアンス



私たちは、コンプライアンスを事業活動の要諦と位置付け、あらゆる法令と企業倫理を遵守し、社会的責任の観点から良識・誠実さをもって行動します。また、コンプライアンスを推進するための仕組み・体制づくりをより強化します。

コンプライアンス意識の醸成



コンプライアンスに関する情報の発信

従業員のコンプライアンス意識の向上と社内浸透を図るべく、ハラスメント、人権、ダイバーシティなどに関するテーマを設定し、その内容を解説した「コンプライアンス便り」や「コンプライアンスポスター」を社内に発信・掲示しています。



コンプライアンス研修の実施

従業員のコンプライアンス意識を高めることを目的に、コンプライアンス研修を実施しています。研修は各職場において所属長が講師となり、従業員に対して教育する方法で行い、全従業員がコンプライアンスの知識を持ち、正しい行動がとれるようになることを目指しています。

社内自浄作用の向上

内部通報制度（企業倫理ホットライン）の運用

業務上の法令・社内規程違反の未然防止と早期発見による是正を図るため、内部通報制度（企業倫理ホットライン）を設け、窓口を社内の担当部門と社外の顧問弁護士事務所の2箇所を設置しています。

業務の合法性・合理性の確保

内部監査の実施

拠点の監査においては、法令および社内規程等の諸基準への準拠性、管理の妥当性・有効性の検証等を行い、公正な立場で経営諸活動を評価し、助言・勧告・支援を実施しています。2022年は、7拠点を対象に監査を実施し、業務品質の向上につなげました。



事業内容

OUR BUSINESS

海外事業

Overseas business

国内で培ってきた知識と技術を活かし、アジアを中心に、顧客のニーズに合わせたサービスを提供しています。販売機器の調達・メンテナンス・設置・オペレーション設計、人材育成、さらには販売支援に及びます。また戦略的 BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）として、現地の顧客と共同で飲料業界のサプライチェーン全体を競争力のある仕組みへと変革しています。

海外における自動販売機事業拡大支援等の グローバル事業

グローバルの飲料市場での顧客の成長支援を目指し、飲料自動販売機の販売・メンテナンス事業からスタートし、現在は自動販売機ビジネスにおけるコンサルティング・導入・運用までトータルサポートを行っています。



タイでの清涼飲料水の 販売機器メンテナンス事業

2016年2月、タイでの販売機器メンテナンスとフィールドサービスの展開・拡大を目的として、シンクランと現地タイのコカ・コーラ ボトラー社である ThaiNamthip のグループ会社と共同出資により、合併企業「BEVPRO ASIA Co., Ltd.」を設立しました。現在は業務用冷蔵機器や暖房機器まで、幅広くメンテナンスを行っています。3ヶ所のメンテナンス工場の他、タイ全土 78 都県の内 63 県とバンコク都で 12 のサービス拠点を構え、訪問修理及び保守点検業務を 353 名体制で行っています。



国内事業

Domestic business

お取引先様の製造工場からお客様に商品をお届けするまでの様々な物流機能におけるオペレーションを通じて、最適なサプライチェーンの構築に貢献します。

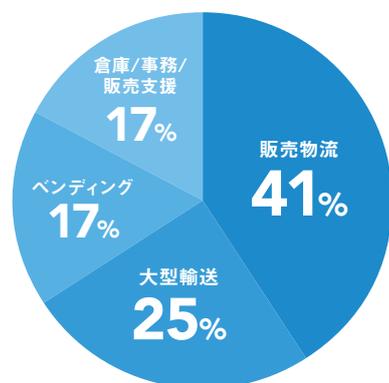
原材料・資材の輸送から店舗での販売支援に至るまでの一貫した業務領域での高品質のサービス提供により、お取引先様の様々な物流へのニーズにお応えいたします。



数字で見るシンクラン(2022年)

At a glance

ビジネス分野



エリアカバー率(国内)

1都 1道 2府 33県 **78%**



従業員

3,266名



拠点数(国内)

152拠点



総車両保有台数

1,444台

事業所一覧

Office list

北海道支店

中京支店

中四国倉庫支店

西中国リテール支店

東北支店

関西支店

山陽四国支店

関東VM支店

東京支店

明石MDC支店

北九州支店

愛知VM支店

関東支店

中日本物流支店

南九州支店

近畿VM支店

北陸支店

中四国輸送支店

東中国リテール支店

(2023年2月1日時点)



事業所数
78事業所



車両台数
1,088台



当社は中・小型車両を使った販売配送を得意とし、スーパーやドラッグストアのようなチェーンストア、酒店、個人商店、飲食店など様々な販売店へ商品を配送します。また、冷蔵、冷凍商品といった温度管理が必要な配送も可能です。取引先では納品時での商品の先入れ先出し、納品伝票・帳票などの取扱い、商品代金回収も行っています。

主な業務



小売り店への配送

得意先へ直接、配送を行っています。主な得意先はスーパー、ドラッグストア、ディスカウントストア、酒店、個人商店、飲食店などで、得意先の規模、道路事情などに応じて車両を選択し配送を行っています。



伝票確認 / 検品

納品先と伝票の宛名が一致しているかを確認し、伝票枚数、納品日付、集金形態、納品数、品目数を確認します。納品時に得意先担当者さま立会いの下、伝票と商品を指さし確認して、確実な検品を実施します。



先入れ先出し

得意先での商品の納品では先入れ先出しを徹底しています。日付の新しい商品が先に販売されることのないように心掛け、消費者のみなさまへ安全・安心な商品をお届けすることを常に心がけています。



集金業務

顧客の得意先で商品代金の回収を行っています。お預かりした現金は車載金庫で厳重に保管し、帰着後に精算業務まで行い、商品の納品数と売上高との照合を行い、違算がないかを毎日確認します。

大型輸送

Transport

事業所数
52事業所



大型車両台数
264台



輸送パートナー
180社



様々な貨物に対応した車両ラインナップで輸送に関するニーズに対応できる体制としています。自社保有の車両に加え、国内180社の輸送協力会社と連携し全国広域エリアをカバーできる輸送体制で、日々1,000台以上の車両を稼働させており、多様化するニーズにも対応できる物流ネットワークの提供も可能です。

倉庫管理

Warehouse management



倉庫管理ではお取引先様の倉庫での製品保管、荷役、管理に関する業務を行います。清涼飲料の倉庫では1,000品種を超える商品管理を実施しており、季節により大きく変化する品種や在庫量に応じてレイアウトの見直しを常に行い、出荷能力をいかに高めるかということ念頭に、製品配置や構内での動線の最適化を図っています。

物流倉庫

67事業所



営業事務

Sales administration



営業事務とはお取引先様から預かる商品の管理と販売に関わる業務全般のことをいいます。製品の入出荷状況、それに付随する備品や資産の管理から、販売に関わる伝票や帳票類の作成、売上や各種データのパソコン入力、各種請求支払いなどの業務を行います。

事業所数

7事業所



ベンディング

Vending



全国1府13県においてコカ・コーラ ボトラーの5万台を超える自動販売機のオペレーションを担っており、国内最大規模のオペレーターであると認識しています。商品の自動販売機への補充、売上金の管理、自動販売機内商品の品質管理、自動販売機のメンテナンス等、自動販売機に関する業務全般を行っています。

事業所数

44事業所



販売支援

Sales support



店頭でのマーチャンダイジング活動により商品の売り上げ促進を図ります。店舗の大きさや売場の環境、来店されるお客様の状況を考慮し効果的に商品を陳列します。POPなどの販促資材の有効的な活用や、お客様の動線を意識した催事場の設営などにより、客数と客単価アップを実現する売り場づくりを目指します。また、受注業務・販促活動のサポート・商品の品質チェックなど、一連の商流活動を一括してお取引先様のニーズに合わせて対応することも可能です。

thinkrun HD

▶ アンケートのお願い

今後のサステナビリティへの取り組みや、レポート制作の参考にさせていただくため、アンケートを実施しています。皆様のご感想やご意見などをお聞かせください。下記の URL または QR コードよりアクセスしてください。

<https://forms.gle/qsnmgFEGFaRKngiMA>



▶ このレポートは、環境等に配慮した制作・印刷方法を採用しています。



このレポートは、FSC® 認証紙を使用しています。



この製品は、VOC 含有率 1% 未満の環境負荷の低い VOC FREE インキを使用しています。